

平成 28 年度 第 2 回あわら市図書館協議会 会議録

1 日 時 平成 29 年 2 月 17 (金) 午後 2 時 ~

2 場 所 金津本陣 IKOSSA3 階 研修室 1

3 会議日程

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 協議事項

(1) 平成 28 年度図書館事業報告 (1 月末現在) について

5 その他

6 閉 会

4 会議資料 会議次第

5 出席委員 八木敏恵・渡辺弘子・近藤順子・伊佐田啓子

笹原美輪子・岩佐寛・小濱弘範・蔵野幾夫・川崎扶美子

6 欠席委員 前田恵美

7 委員以外の出席者

大代紀夫(教育長) 笹井和弥(文化学習課長)

(事務局) 能美進(金津図書館長)・小林孝男(芦原図書館長)

見野部素子(金津図書館司書)・河村みゆき(芦原図書館司書)

8 傍聴者 なし

9 開 会 (事務局：開会を告げる。)

10 教育長あいさつ

お忙しい中ありがとうございます。また、図書館の事業では、学校へのブックトーク、読み聞かせなど行っていただきありがとうございます。

子供たちが、1 年間でどのくらいの本を借りているのかという調査があります。その調査によると、学年があがるにつれて、借りる本の冊数が減っていくという調査結果があります。例えば、中学 1 年生、2 年生、3 年生、小学校 1 年生、2 年生、3 年生と高学年になっていくにつれ、差が大きくなっていくということです。

今の子どもたちは、例えば受験であったり、下校が遅かったり、又、スマートフォンなどの情報機器の発達により、文字に触れ合う機会が非常に少なくなっています。

今、みなさんにお渡しした記事ですが、その中の「こころの解釈」というところを読んでいただきたいと思います。そして、人の心がわかる人間に育っていきけるよう読書活動を行って欲しいと思います。読書を行うことで、生きる力をはぐくみ深い人間関係の礎となるようになって欲しいと思います。この協議会の中で、こころを読むことの話を進めてほしいです。

11 委員長あいさつ(岩佐委員長)

個人的な思いで恐縮ですが、今の社会は超がつく高齢社会で、自分も高齢になってきており、運転免許書の返納なんていうことも考えるようになってきました。そうすると、図書館へ行くのも大変になってくる。いろいろ考えなければならぬと思います。

さて、図書館協議会ですが、今まで提言してきたことが、形になって表れてきていることは、大変よいこと、嬉しいことだと思います。

12 庶務報告(事務局)

定足数(半数)について、委員 10 名中 9 名出席による会議の成立を報告する。

13 協議事項

規定により、岩佐委員長が議長となり会議を進める。

協議事項の(1)平成 28 年度図書館事業報告(1 月末現在)について 図書館の運営について、事務局において説明を行う。

14 質疑応答

議 長 事務局から説明がありました、「平成 28 年度図書館事業経過報告について」ご質

問ご意見等はありませんか。

委員 I 今、この資料をみせていただきまして、非常に驚いているわけですがけれども、前年の同じ時期（平成 28 年 2 月開催）の資料と比較しますと、本の貸出冊数が芦原図書館は、7 千冊くらい減少、また、来館者数も 3 千人近く減っています。金津図書館も少し減っていますが、それにしても昨今施設の統廃合等が言われておりますが、芦原図書館大丈夫なののでしょうか。本の蔵書数も 1 昨年前より 3 千冊ほど減っていますが、その理由は何なのでしょう。

事務局 まず、芦原図書館の蔵書数ですが、芦原図書館の蔵書の収容能力は、6 万冊（途中で県立図書館から書架をいただいているのでもう少しあります）ということなので、1 万冊減らさないと本が動かせない状況です。4 月に異動で芦原図書館へまいりましたが、本棚が満杯で、入りきらない本がケースに入って積み上げられていました。絵本も実際は、児童室にある本の 2 倍くらい所蔵しているのですが、棚に並びきらないため、閉架書庫に入っている状態です。本が適正に棚に並ぶようにしたいと思いますので、これからも、使えない資料を処分して、1 万冊くらい蔵書を減らすつもりです。

貸し出し数が落ちているのは、まず、団体貸出では、波松小学校がなくなりましたので、その分は減少しました。また個人貸出も減少しておりますが、金津図書館と比べると子どもの来館が少ないように思います。

委員 F 芦原図書館は、絵本等の児童書がさがしにくいと感じます。もし、本が入りきらないのでしたら、おっしゃるとおり、少し減らすのもいのかもかもしれません。

また、奥の学習室は広いのですから、少し考えて、もっと本を置いてみるのもいいかもしれません。

委員 E 芦原図書館へ行って感じるのは、部屋が仕切られているので、もっとオープンになっていると、本が手にとりやすいのにと感じますが、施設の最初からの造りなので、もし予算がついて、将来的に芦原図書館をリフォーム（改修）できるといいと思います。

事務局 建物的に図書館の造りではないですね。

委員 I 私が思うのは、私たちの税金がどう使われていくのか、税金の使い方ですね。足湯もいいですが、子供たちの素質を伸ばす環境づくり、教育にもっと充実させてもいいのではないかと感じます。

委員 C 芦原図書館の会議室ですが、立派なのですが利用率はどうなっていますか。私はおはなし会、読書会などに使用していますが、あまり利用がないなら、もっと開放的にしたらどうでしょうか。改修して、本を置けるようにしてもいいと思います。

議長 資料にレファレンスの数が出ていますが、レファレンスとはどういうことをいいますか？

委員 E よくあわら市（金津図書館、芦原図書館）に本がない場合、他の図書館で本を借りていただきますが、それもレファレンスになるのでしょうか？

事務局 それは、レファレンスではありません。リクエストといいます。

レファレンスとは、図書館の利用者が必要とされる資料を提供、回答することなのですが、たとえば、“上杉謙信が細呂木まで来ているというが、どこに書かれているのか”という質問に、“上杉喜寿の『歴史街道』に載っている”というふうに、利用者に提示するような調べもののお手伝いです。

議長 活動及び行事で、なにか今年から始めたような新しい行事があれば、事務局から説明ねがいます。

事務局 金津図書館ですが、今年度、新しく「文学講座」を行いました。来年度からも開催していきたいと思います。それと、工作教室として予算がついているのですが、子どもたちにマジックを楽しんでもらおうと、あわら市出身の桑島康郎氏による「マジックを楽しもう」を開催いたしました。

委員 H 前回も言ったのですが、図書館だよりですが、子供向けばかりではなく、年に 1 回でもいいので、大人向けの図書館だよりを出していただきたいと思います。

委員 C 図書館だよりですが、子供がもう少し興味を持つように、たとえばブックトーク

みたいにテーマでつなげるとか工夫するとよいと思うことと、もう少し掲示してほしいと思います。館長コラムは、大変良いとおもいます。それと先ほどおっしゃったように、大人向けの図書館だよりというか、大人向けに本の紹介をしてほしいと思います。

議長 市の広報で、新刊案内が載るわけですが、その紙面でもう少し詳しく本の紹介を載せるわけにはいかないのでしょうか。

事務局 広報はスペースが限られており、なかなか難しいです。

委員 C 1月18日の福井新聞に、図書館街づくりの核に という記事があり街づくりのことが載っていました。あわら市もしていると掲載されていました。

事務局 IKOSSAの玄関に街づくりの一環として、金津地蔵のモニュメントが現在、つくられています。

委員 E 金津地蔵のお話しができましたので、童話の会で、狂言（金津地蔵）の大型紙芝居を以前作成しましたので、またみなさんご利用ください。全部で24場面あります。

事務局 それと、金津図書館を利用させていただいておりますが、移転する前の金津図書館のときは、大型絵本（ビッグブック）を、オープンに手にとってみれるようになっていたのですが、移転して新しい建物になってから閉架書庫にしまわれてしまっており、自由に手にとって見られなくなったのですが、それはなぜでしょうか。

事務局 大型絵本は、禁帯出になっており、読み聞かせのグループの方、また学校等へ読み聞かせに行かれる場合にのみお貸ししており、個人の方にはお貸ししておりませんので、閉架書庫に入れてあります。両館の所蔵リストがカウンターに用意してありますのでご利用ください。

委員 G 芦原図書館の学習室ですが、学習室は必要でしょうか。

事務局 学習室の利用はかなりあります。そして必要だと思います。公民館等にこのような環境（静かで空調のある環境の部屋）があればよいのですが、現在ないので必要だと思います。他に対応できる施設があれば、図書館になくてもよいでしょう。

事務局 IKOSSAの3階は、学習ができるようになっておりますが、何分目が行き届かないので、大変です。昨今慶応義塾大学の図書館では、グループ討論ができる小部屋があるということです。そういう小部屋というか個室が図書館内にあるといいと思います。

議長 その他、何かございませんか。

事務局 7月5日にあわら市教育委員会と加賀市教育委員会の「図書館資料の貸出しに関する協定」により、あわら市、加賀市の住民の方もあわら市、加賀市の図書館で、本を借りられるようになりました。7月5日～1月31日までの実績は、加賀市からの貸出カードの登録者が、金津図書館 14名、芦原図書館 3名、貸出冊数が、金津図書館 156冊、芦原図書館 45冊となっております。吉崎地区の方には、大変便利になったかと思えます。

委員 I 私自身は、車を運転して図書館へ行っておりますが、高齢者や障害のある方などじかに足を運べない人に、例えば移動図書館など考えていただけるとありがたいと思います。

事務局 現在、芦原地区では、本荘公民館、北湯公民館へ団体貸出を行っておりますので、その本を利用していただけるとありがたいです。

課長 加賀市教育委員会との「図書館資料の貸出しに関する協定」締結の時に、加賀市立中央図書館の移動バスを見せていただきましたが、移動バスだけで1000万円ということ、移動図書館専用のスペース、移動図書館用の本の購入費を考慮しますとなかなかむずかしいものがあります。

議長 そして、先ほどから芦原図書館の会議室、学習室の利活用という意見ができましたので、また考えていきたいと思えます

議長 他に何かありませんか。

事務局 11月5日に、岩佐委員長が教育委員会功労賞を受賞されました。おめでとうございます。